

成長を促すものであるともいいますので、鬱憤を晴らすことがあっても、少々大目に見てください。

今年のゴールデンウィークは3日から7日まで幼稚園はお休みです。今年は5月7日を創立記念日として休園させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ください。

ホームページにはパスワードでロックされたページに毎日の活動の様子を写真に撮り、名前を消してアップしています。この写真はメモリッジという会社を通して購入することができます。幼稚園のホームページでは載せきれなかった写真もたくさん見られるはずですので、ぜひご登録ください。

Instagramには毎日の給食の画像と、時々動画を載せています。ここでは子どもが誰か、他人には判別しにくいくらいのサイズでアップします。インスタライブをすることもありますので、Instagramをしたことがない方も、是非アカウントを取得してください。

お弁当の投稿もホームページにアップしています。投稿をお待ちしています。

「子どものつぶやき」を常時募集しています。ホームページからも投稿できます。ご提出くださった「子どものつぶやき」は、年度末(3月)に、小冊子にして毎年配布しています。教員達にも子ども達との会話をメモするように伝えており、毎年たくさんのつぶやきが集まります。子どもとの会話をぜひメモしてみてください。子どものつぶやきは“生きている心”です。この時にしか発せられない子どもの言葉を、キャッチして書き留めておけば、いつか忘れてしまうはずのことが、記録として残ります。

*幼稚園の防災倉庫には長期保存できる食品や毛布などを備蓄しています。防災費(500円)の集金をさせていただきましたが、年度末に食品を持ち帰ります。

園長 志田 裕美子

<担任から今月のメッセージ>

進級、入園して1ヶ月が経ちました。

新しいクラスにワクワクしている子もいれば、ドキドキして緊張していたり、ちょっぴり涙したりしている子もいましたが、友だちと過ごしているうちに、みんな段々と笑顔になっていきます。

はな組になって初めての園外では、チューリップ祭りです。平日ですが、会場までの道は渋滞していました。

せっかくなのでクイズで盛り上がりたのですが、「見て!チューリップが見えてきたよ」「色々な色があるね」「うわ!京成線の電車だ!」「この電車に乗ったことあるよ」

とまらない、とまらない…子どもたちのお話がとまらない。子どもたちだけで、とても盛り上がっていたので、クイズは一問だけにして、みんなでお話しを楽しみました。

<2ページへ続きます>



桜が終わると、新緑が一斉に芽を伸ばしはじめ、園庭の芝生も緑が美しい季節です。

4月の誕生会が終わったばかりですが、なんと誰も泣かずに、座って参加できました。“ちゃんと”は求めています、なんだか自然と“ちゃんと”していました。

子ども達は幼稚園では“ちゃんと”しているけれど、ご家庭だと暴君と化す、とよく聞きます。場合によっては、これはとてもいいことと言えます。ご両親にちゃんと甘えることができ、安全基地だと認識しているから、安心して暴れることができる。どんなに暴れても、わがままを言っても、ちゃんと愛されている、ありのままを受け入れてもらえる、という実感があるからです。

逆に幼稚園でみんながちゃんと話を聞いているのに、聞けない子もいます。叱られることがわかっているのにわざと叱られるようなことをする子も稀にいます。叱られるとわかっているのに、なぜ叱られるようなことをする子がいるのでしょうか?

30人で話を聞いていても「ぼくがぼくが」「わたしがわたしが」と自分の話を聞いて!とばかりに訴えてくる子がいます。子どもは「あなたが大切」「あなたのことを見ていますよ」と受け入れて欲しいのです。家庭でしっかりと親に受容されることが、子どもの心を安定させるのです。安定すると周りの子が見えてきます。他の子への思いやりはその次の段階です。

人間の一生はだいたい八段階くらいに区分されるといわれています。第一段階は、一番大切な第一段階の「受容」。第五段階で大人になる過渡期=アイデンティティの獲得の時期がきます。最近はこのアイデンティティの獲得という関門を乗り越えられない若者が増えていると聞いています。アイデンティティの獲得とは「自我同一性」=「心のよりどころ」のことを言います。「心のよりどころ」を求めて集団とうまく繋がれない、不登校、ひきこもり、様々な依存症、親になってからの我が子への虐待。そういうものが増えているのは皆さまもご存じのことだと思います。

こんな難しい言葉で説明しなくても、幸せに暮らしている私たちは幸せなのだと思います。幼稚園の時期は親御さんとの時間がたくさん持てる時期です。たくさん愛情をかけて育ててください。「愛されている」と実感できた子どもは強いです。友達にも優しくできます。

「人間は集団の中でつながり合って生きる動物」です。つながりを求める動物とも言えます。幼稚園ではそのつながりを円滑に、自我と折り合いをつけながら、子ども達は生活をしています。幼稚園では我慢もしていることでしょう。そのストレスが家庭で発散されているのも想像がつかます。でもストレスはそう悪いものではなく、

「チューリップ綺麗だね」
「見て、このチューリップの色、黒だよ！初めて見た」
「花びらがギザギザしてる、こっちはギザギザしてないよ」

会場に着いてからは様々な種類のチューリップをみんな
で堪能しました。

「チューリップ祭りは来年からしばらくお休みするんだ
って。今度やる時はみんなが小学生になってからかな？」
と話しをすると

「じゃあ、その時にママに連れてきてもらおう～」と答え
てくれました。ぜひ、再開した際には、大きくなった子
どもたちと行かれてみて下さい。

たくさん歩いてヘトヘトになった帰りのバスでは、静か
に「いっぱい歩いたから疲れたね」「お腹すいた」と話し
て、疲れていてもやっぱりお話しが好きな子が多いんだ
なと笑ってしまいました。

これから行事を通して、交友関係やクラスの絆もどんど
ん変わっていくと思うので、その変化を見逃さないよう、
毎日を大切に過ごしていきたいです。
どのようなクラスになっていくのか、楽しみです。

お子さんのことで何か不安なことや気になることかあり
ましたら、些細なことでも遠慮せずご連絡ください。
私の至らない点も多いかと思うので、何かあればすぐ
にお知らせください。

お子さんの可愛い、楽しいエピソードもお待ちしていま
す。

1年間、よろしくお願いいたします。

安西 美怜